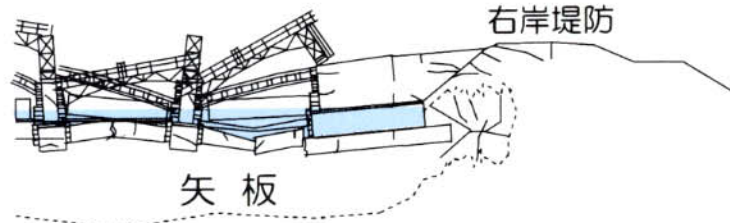


大河津可動堰が倒壊した場合の影響

想定される被災イメージ

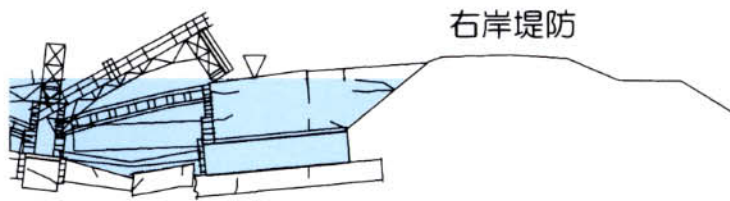
空洞化・老朽化

不安定化 → 堰柱の倒壊

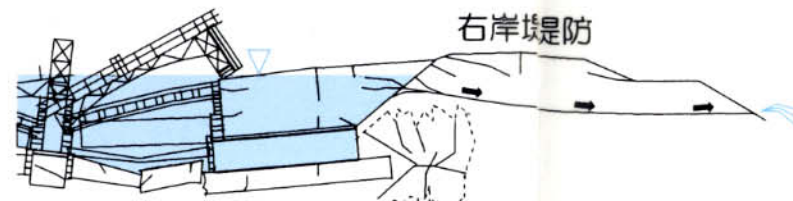


洪水の発生

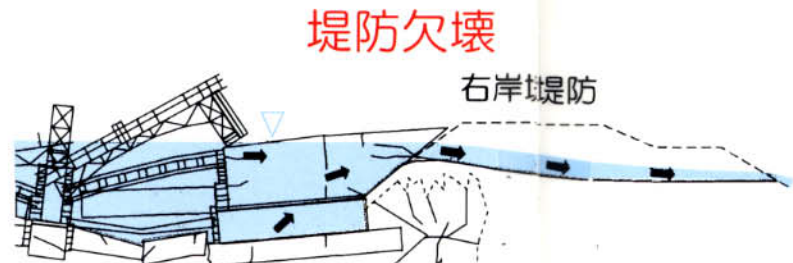
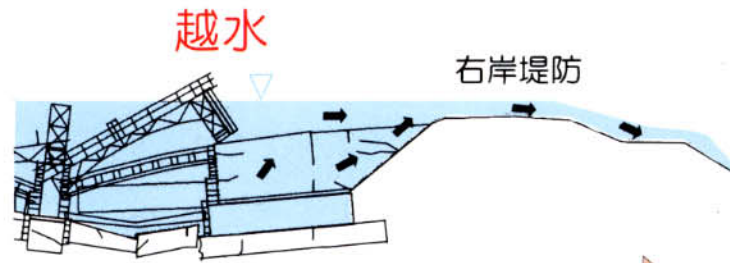
河道閉塞した場合



堤防内の矢板が破断した場合



洪水水位の上昇・洪水流の右岸側への集中



②右岸堤防の破堤

①取水不能に陥る

想定被害のイメージ

①取水不能に陥ると

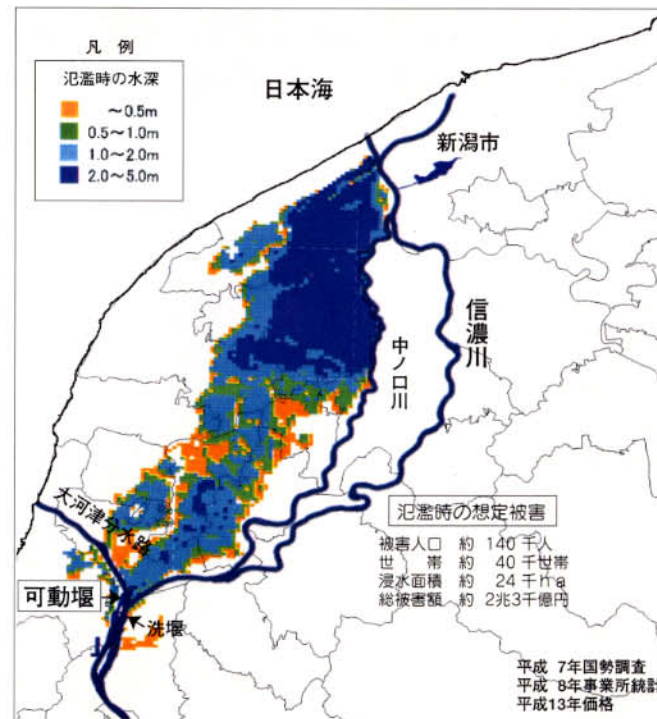


信濃川下流域への流水の分派機能の消失、維持水位の確保不能に陥り、分派点下流の越後平野約3万haの農業用水、16市町村の上水道が取水不能となる。



●加茂市上水道の取水塔では、水位が低下し取水が出来なくなり、仮設の応急ポンプにより取水を実施。

②右岸堤防が破堤すると



洪水流の右岸堤への集中により、最悪の場合、右岸堤が破堤する。洪水は下流新潟市を含む、越後平野一体が浸水し、被害人口約14万人、浸水面積約2万4千ha、総被害額約2兆3千億円の恐れがある。

1/150確率流量時の氾濫シミュレーション
 (可動堰右岸が破堤した場合)